

# 小川に沿って ゆるゆると 春の森を歩く

4月の半ば、天気の良い日に、友人に連れられて苫小牧や白老方面の森や湿原を散策した。春の花の時期には少し早かったがなんとも気持ちの良い1日だった。

2つ目に訪れた白老のキャンプ場そばの湿原の植物観察用浮橋では、水芭蕉がたくさん<sup>つぼみ</sup>の蕾をつけていた。緩やかに蛇行する小川には、透き通った水の中に10cm前後の魚が泳いでいる。正確には私たちが来たのを知って隠れていて、近づくといっせいにすごい速さで泳ぎ逃げていく。魚の頭の中には内耳があって人間よりも音を聞くことができるらしい。自然の中で暮らす生き物の俊敏さと警戒心にいたく感動した。

あっちこっちに移動しながら最後は大学の研究林へ。耳を澄ますとクマガウヤや四十雀<sup>しじゅうから</sup>、ひよりなど、いろいろな鳥の音が聞こえてくる。ここにもきれいな小川があり、そばには小さな黄色い花のナニワズが咲いていて、小さな春に出会えてうれしくなった。静かな水面に木立や空が映り込みなんとも美しい。魚の姿は見えなかったが、時々大きな波紋が広がり水面がゆらゆらと揺れた。ゆっくりと深呼吸しながら歩くと、くたびれた気持ちがふかふかと癒されていく。

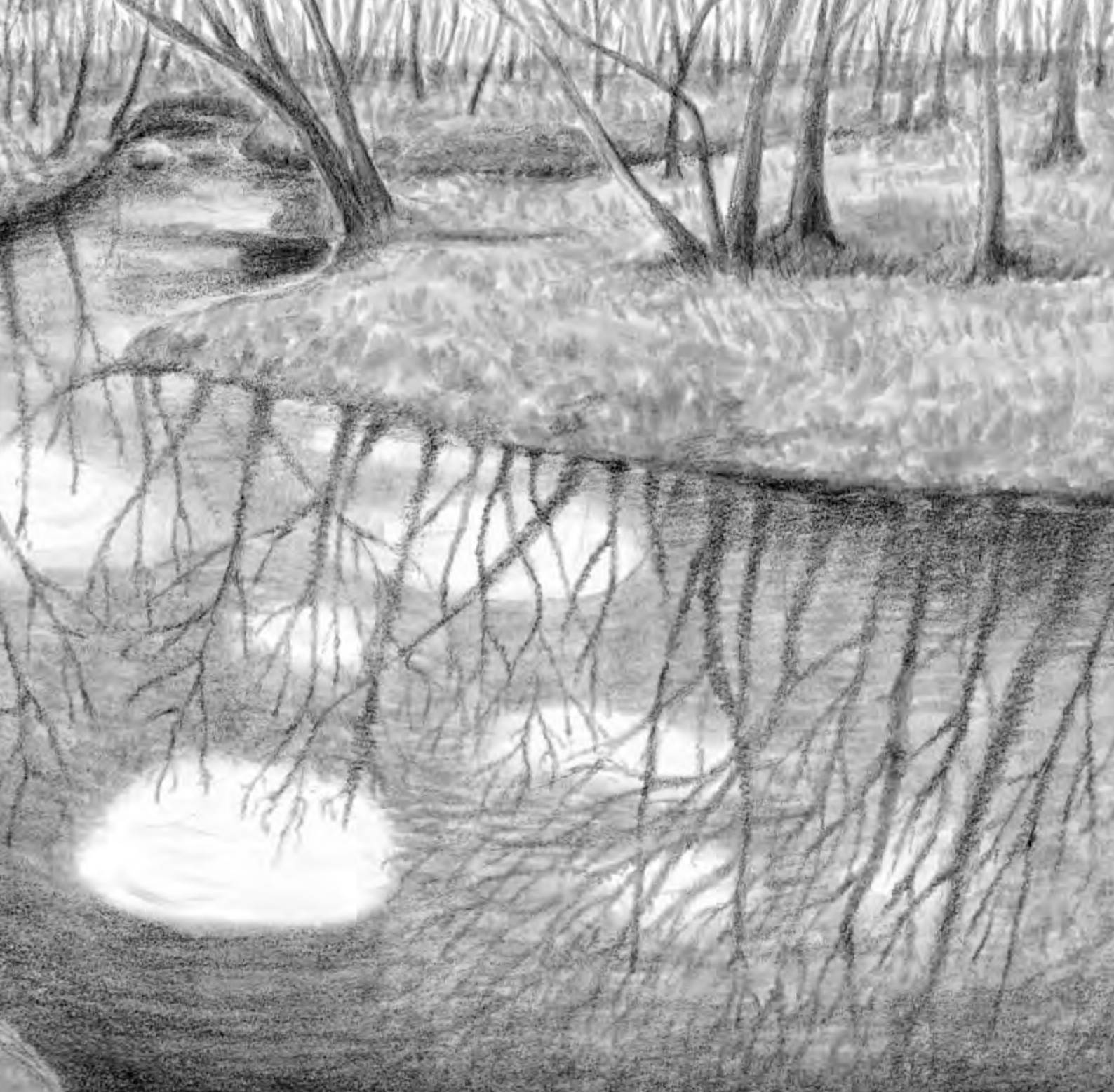
いつも思うことだけど、自然は偉大だ。この自然のおかげできれいな水や空気が維持され、人も動物も植物も全ての生命が生きていける。自然災害も起こるけど、自然を大事にしながらか生きていくことを子どもも大人も、もっと学ばなくてはと改めて思う。



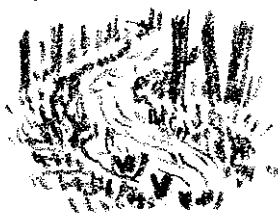
## すずき もも

イラストレーター・絵本作家／スローフードさっぽろリーダー

東京生まれ、北海道夕張育ち。広告や雑誌、カレンダーなどのイラストを描くほか、イラストで綴る町案内の本や絵本などを執筆。ほか、「スローフードさっぽろ」を2016年に立ち上げ、食を中心に環境や暮らしの大事に取り組んでいる。著書に絵本「はるとなつはたけのごちそうなーんだ?」(アリス館)「おいしい大地、北海道」(イースト・プレス)がある。近著に絵本「はたけのごちそうなーんだ? くだもの」(アリス館)がある。モットーは4つのS。「Simple, Slow, Small, Smile: ささやかに、ゆっくり、ほどほどに、にこにここと」。



ポロト湖自然休養林  
 (植物観察用浮橋)  
 ポロト湿原にかかる遊歩道  
 湖を巡る散策路にもつな  
 がっている。11月は春は  
 水芭蕉の群生地に\*



ヨコスト湿原

海沿いに広がる湿原。  
 海辺ならではの動植物が  
 観察できます。砂浜をさん  
 ぽろするの楽しい! また、  
 横前山が一望できる\*



錦大沼公園

大沼と小沼があり  
 公園として整備されて  
 いる。キャンプ場や広場  
 などいろいろな体験も  
 できる。

